



地域活動事例発表会
2024年11月6日

課題学習の継続活動 「プロジェクトV」について

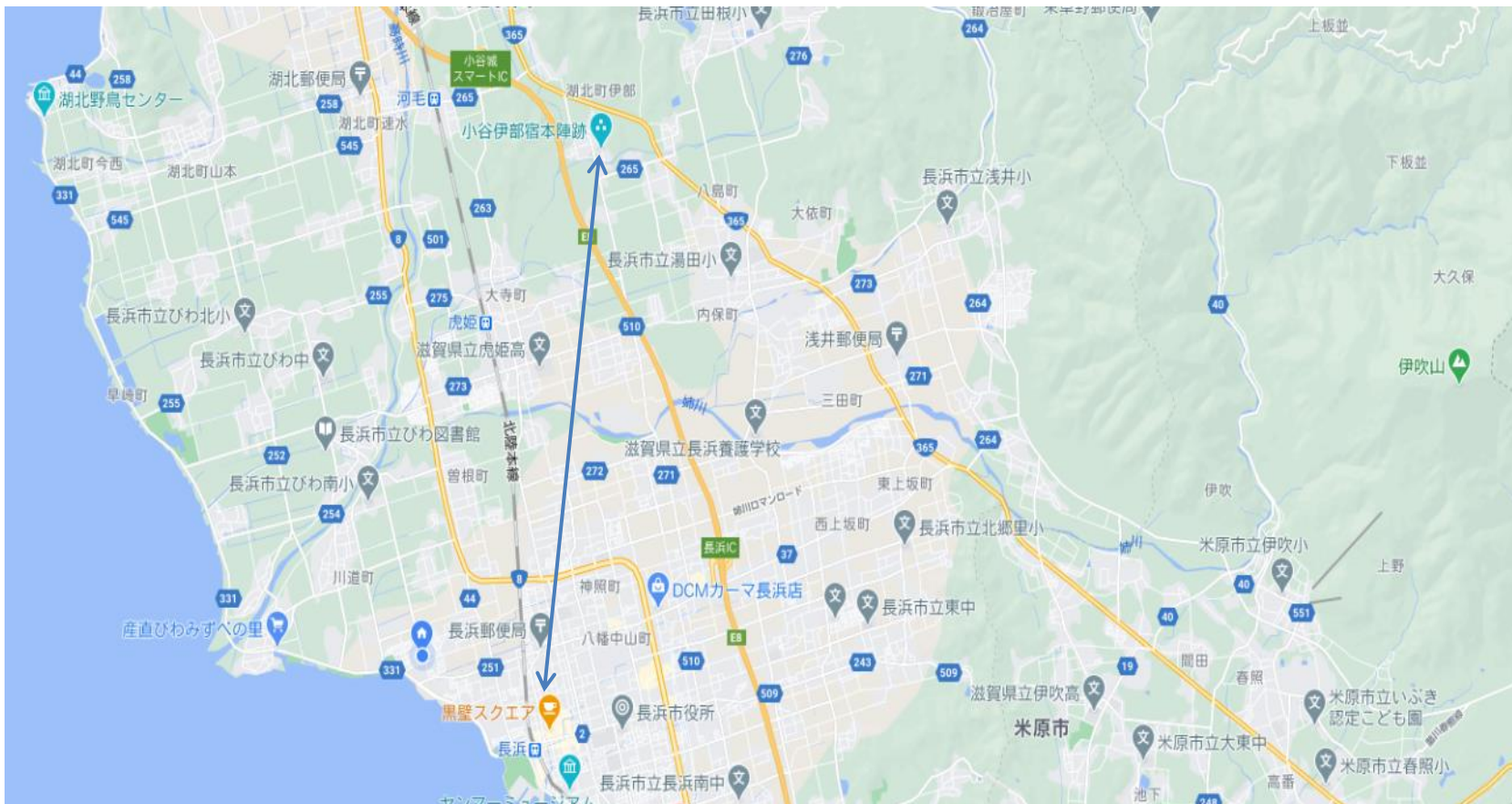
滋賀県レイカディア大学米原校
41期 園芸学科
谷口惣亮

1. 活動場所とテーマ設定の経緯

- 「園芸技術(スキル)の向上」を目標として活動場所の選定開始
- 北近江文化40期田中信之先輩から小谷伊部宿本陣を紹介
- 伊部本陣16代目当主肥田嘉昭氏は米原校地域文化学科30期生
- 当初、同期の園芸学科小山氏へ庭園の剪定を依頼された
- その後、10数名で庭園の剪定作業を7～8年間継続されていたがリーダーの逝去に伴い中断
- その後、32期園芸学科の真壁氏と数名で年2回剪定実施
- 庭園整備は継続性が必要であり5年間続けることを目指すという理由でグループ名は「プロジェクト・ファイブ」とした

2. 活動場所と課題

- 長浜市湖北町伊部は長浜市街の北約8kmの所に位置し、中世には浅井氏の居城小谷城の城下であり、江戸時代は北国脇往還の宿駅であった



伊能忠敬の測量を支援

湖北・肥田家子孫に感謝状

江戸時代に日本で初めて実測地図を作った伊能忠敬（一七四五―一八一八年）。その没後三百年を記念し、四月に東京都内で開かれた「伊能測量協力者顕彰大会」で、測量当時、忠敬に宿を提供した協力者の子孫、肥田嘉昭さん（左）＝長浜市湖北町＝が功績感謝状を贈られた。肥田さんは「歴史を共有することができ、光栄」と喜んだ。

（前嶋英則）

忠敬は、十七年をかけて全国を測量して歩き、「大日本沿海輿地全図」を完成させた。測量には多くの人が関わった。測量日記には、現地で宿を提供した人、作業を手伝った人など、全国の協力者一万余人の名が残っている。伊能忠敬研究会（東京）は、肥田家を訪れたのは、「第四

東京で没後200年顕彰大会

次測量」が行われた一八〇三年（享和三年）五月二十三日。東海東北陸道沿岸測量の途中、北国街道と中山道を結ぶ脇街道だった北国脇往還の「伊部宿本陣」に一泊した。本陣は、肥田家十代目、肥田加兵衛の屋敷で、忠敬の一行九人をもてなしたとある。

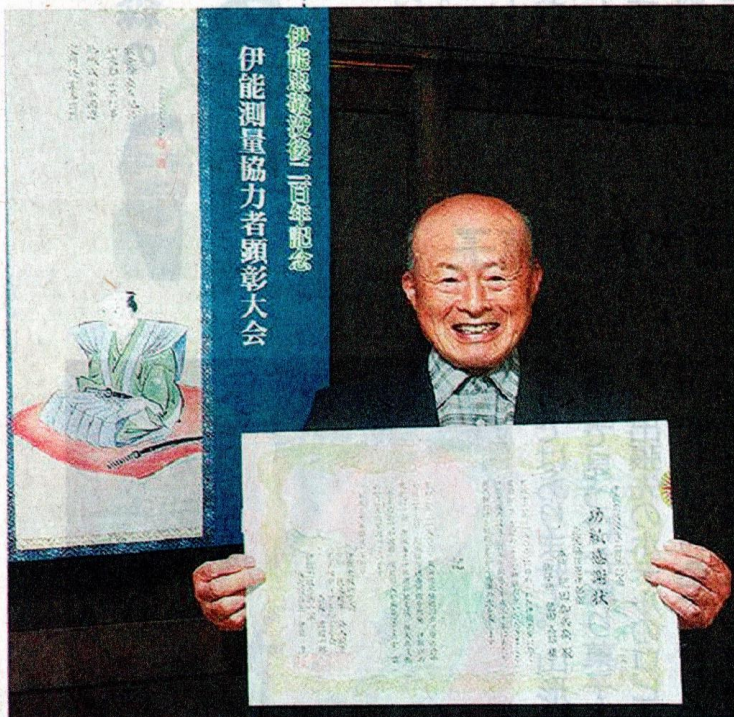
当時の様子は、本陣に残る宿帳でも確認できる。ウナギや湯葉、からしあえなど一汁四菜の夕食膳や、一汁三菜の朝食膳、昼食用の弁当と、一行をもてなしたときの食事の献立が詳細に記されている。

肥田さんは肥田家の十六代目。小学校長で退職し、町内の湖北野鳥センター所長を務めた後、今は郷土史家として活動を続ける。

「五十歳を過ぎてから大事業をやった伊能忠敬はすごい人。生き方を学ばせてもらいたいし、改めて肥田家を大切に守っていきたいと思います」。贈られた感謝状を見つめ、そう語る肥田さん。「県内には、八十一人の測量協力者がいたと聞いている。これを機に、協力者の子孫同士で交流できたらいいですね」とほほ笑んだ。

◎肥田さん＝0749（78）0475

伊能忠敬の測量協力者に宛てた功績感謝状を受け取った子孫の肥田さん＝長浜市湖北町の自宅で



※記事中の肩書や団体名などは掲載時のもので、現在の状況と異なる場合があります。

- 要望事項
庭園の葉刈、正門前カラタチ伐採と雑草対策、
果樹(ブルーベリー、イチジク)植栽、ただし松の剪定は除く
- 当主コメント
新しい角度で勉強しながら専門的な視点で計画してほしい



3. 課題学習の活動内容

- 田中創リーダーのもと、12月～6月で月3～4日を活動日とし、次の活動を予定
 - － 伊部本陣オーナーとの協議（年間計画など）
 - － 生垣整備（竹伐採、竹細工）
 - － 庭の整備（樹木の剪定など）
 - － 野菜栽培（土づくり、種まき、苗植付、収穫）
 - － 果樹栽培（植栽計画立案）
 - － 竹ベンチ製作
 - － 今後の計画策定（4年間）
- 課題学習中の実績は、作業期間12月～6月の中で、活動回数は24回、延べ62時間

正門前の伐採・整地



果樹の鉢植え



竹垣 (金閣寺垣・建仁寺垣・移動式) 製作



竹垣 (金閣寺垣・建仁寺垣) 設置



設置後の植栽（タマリウ・イダレウ）と ベンチ作成



正門前・庭園・中庭の夏季剪定



4. 卒業後の活動内容

・2021年(5日 延べ13時間)

野菜畑耕作・裏庭除草・生垣剪定・庭園剪定・樹木伐採・イチジク移植など

・2022年(4日 延べ12時間)

ジャガイモ植付け・種まき・畑の耕作・折枝の集積・ブルーベリー移植・正門前の除草・庭園剪定

・2023年(2日 延べ5時間)

庭園剪定・44期園芸学科チームとの合同作業(1日)

・2024年(3日 延べ8時間)

庭園剪定・生垣整備・44期チームとの合同作業(1日)

4 4 期園芸学科チーム (7人の剪定師) との作業



卒業後の伊部本陣作業



おわりに

課題学習から今年で5年が過ぎ、区切りの年となった。卒業後は年に2～5日の作業であったが、6月のサツキ・ツツジの剪定は毎年実施できた。5年間の活動継続を目指しての課題学習であったが、レイ大で知り合った仲間とのつながりを含め当初の目的は何とか達成できたように思う。この後も仲間との絆を大切にしていきたいと思う。

今後については、当主の肥田さん夫妻の意向が第一ではあるが、我々も含め今まで続いてきたレイ大のつながりが継続出来たらとも思う。

最後に、この「プロジェクトV」の活動が継続できたのは肥田さん夫妻のご理解とご協力があったのである。改めてお礼申し上げます。

ご清聴ありがとうございます

ございました